



小中学生版

Vol.12

発行所 〒329-0101
栃木県下都賀郡野木町大字友沼5840-7
野木町社会福祉協議会
(この新聞は共同募金配分金事業で発行されています)
平成29年2月23日発行

みんなで考える福祉教育

地域福祉新聞



～もくじ～

- 友沼小学校 P2
- 野木小学校 P3
- 佐川野小学校 P4
- 南赤塚小学校 P5
- 新橋小学校 P6
- 野木中学校 P7
- 野木第二中学校 P8
- 協力ボランティア P9
- 夏の思い出 P10



野木町社会福祉協議会では、町内の小・中学校7校を「児童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、各校の福祉教育担当の先生方と社会福祉協議会、また、日頃より福祉教育に携わっているボランティアの方々と交えて年3回連絡会議を開催しています。連絡会議では、各校における福祉教育の計画や社会福祉協議会が行う福祉教育事業、地域福祉新聞の記事・校正など意見交換を行っています。

ここでは、平成28年度に行われた各校の事業や、児童・生徒の感想文を紹介するとともに、福祉教育に協力していただいているボランティアの方々、社会福祉協議会で開催した講座の様子を掲載いたしました。地域福祉新聞をきっかけに、身近な方々と福祉について話し合ってみてください。

友沼 小学校

友沼小学校では、4年生が「総合的な学習の時間」に福祉の学習をしています。ハンディキャップ体験では、「アイマスク体験」「車いす体験」「高齢者疑似体験」を実施し、ハンディキャップのある方がおかれている状況や、障がいに対する理解を深めることを目標に活動しました。チャレンジフェスティバルでは、耳が不自由な方からお話を聞いたり、手話サークル「虹の会」「野和の会」の皆様から手話を教えていただいたり、貴重な経験をすることができました。

アイマスク体験



4年 あらい もみじ 荒井 栞

アイマスク体験をして、目の見えないことはこんなに大変なんだな、と思いました。目をつぶって階段を下りるだけでもこわいの、目が見えない人はいつもそのような状態で生活しなければならないからです。これからは、目が不自由な方を見かけたら、やさしくできる人になりたいです。

4年 おおしま ゆりな 大島 悠莉奈

私が一番大変だと思ったのは、アイマスク体験です。友達が私と手をつないで、どこが段差でどこがドアかを教えてくれたので歩けました。もし教えてくれる人がいなかったら私はこわくて歩けません。アイマスク体験をして目の見えない人の気持ちがわかりました。この体験を生かして、目の見えない人に会ったら声をかけたいです。

4年 つかはら ふうと 塚原 楓人

ぼくは、車いすは楽だろうと思っていました。だけど、車いすに乗って段差のあるマットレスや下り坂に行ってみると、マットレスはなかなかこえられず、下り坂は下るのがこわく、ひやひやしました。車いすに乗ってどうするのは、とても大変だということが分かりました。

4年 いおか まさと 井岡 優斗

車いすは、平らな地面では一人で進めるけれど、上り坂や下り坂、段差では、おしてくれる人がいないと進めませんでした。だからおす人は、上り坂や下り坂では気を引きしめて、しんちようにおさなければならないのです。この体験で、車いすを使用する方の大変さと、手助けする人の大変さが分かりました。

車いす体験



高齢者疑似体験



4年 みうら ゆう 三浦 由

目が見えにくくなったり、体が重くなったり、こしが曲がったりする体験をしました。そのじょうたいで、豆をちがうお皿にうつす作業は、とてもむずかしかったです。お年よりは、ふつうのことをするのも、大変なのだと思いました。これからは、お年よりはにやさしくし、こまっていたら助けたいです。

4年 でわ ゆい 出羽 結衣

高齢者疑似体験では、メガネをかけて目を見えにくくしたり、体に重りをつけて歩いてみたり、耳を聞こえにくくしたりして、高齢者の体のじょうたいを体験しました。そうぞうしていたより、大変なことがよく分かりました。こまっている高齢者がいたら、手助けしたいです。

手話体験



4年 わたなべ みく 渡邊 望来

手話サークルの方から手話を教えていただきました。手話は、耳が聞こえない人が手で会話をする方法です。じっさいにやってみたら、少しむずかしかったです。耳が聞こえない人がどれだけ苦労しているのか、手話を体験して分かりました。耳が聞こえない人に会ったら、手話で話してみたいです。

4年 まつき けんた 松木 建太

ぼくは、耳の聞こえない人達が、手話でどんなふうにご話しているのかぎもんに思っていました。手話をやってみると、一つ一つちがう手話があって、とてもおぼえにくかったです。でも、山や川はその形をおぼえればよいことを知り、かんたんなものもあるのだと思いました。これから、耳が聞こえない方と話すことがあったら、できるだけ手話を使ってみようと思います。



野木 小学校

野木小学校では、4年生の総合的な学習の時間に補助犬講座、ハンディキャップ体験、手話や点字サークルの方々との触れ合い、地域の「こもれびの舎」での高齢者の方々との交流などを通じて、「人にやさしい」とは、どんなことなのかを考え、深める学習を行いました。



【補助犬講座】

4年 ^{はた} ^{るるか} 秦 瑠花

実際に補助犬と歩いていると、思ったより速く歩きました。ちょっとこわかったけど、犬を信じて歩けばだいじょうぶ、とトレーナーの方が言ってくれたので、信じて歩いてみたら安全に歩きました。



【ハンディキャップ体験】

4年 ^{わたなべ} ^{みお} 渡邊 滯

車いすを体験して感じたことは、一人では大変だなということです。特に曲がる時と、段差を越えなければならない時、2人いないととてもやりにくいことが分かりました。だから、町で車いすの人を見かけたら、動かすのを手伝ってあげたいです。



【手話体験】

4年 ^{たなか} ^{ゆうな} 田中 佑奈

私は、手話サークルの方に教えていただいて、自分の家族や学校のことを手話で伝えることができたので、とてもうれしかったです。耳が不自由でも、聞こえる人ともお話ができるのはとてもいいことだと思います。私も耳の聞こえない人と手話で話してみたいです。



【点字体験】

4年 ^{まつもと} ^{だいき} 松本 大輝

目が見えなくても読むことができるなんてびっくりしました。僕も点字をやってみて、とても難しかったけど、目の不自由な人はいつもこうやって読んだり書いたりできるのは便利だなとわかりました。



【施設訪問】

4年 ^{こばやし} ^{ゆうな} 小林 由奈

こもれびの舎に行って歌や演奏のプレゼントをした時に、おじいさんやおばあさんの中に感激して泣いてくださった方がいました。お別れする時、あく手したら手がとても温かくて私も泣いてしまいました。また、喜ばせてあげたいな、と思いました。



佐川野 小学校

佐川野小学校では、4年生が「総合的な学習の時間」に福祉の学習をしています。今年度も、社会福祉協議会の方々やボランティアの方の協力を得て、みんなにとって「住みやすい町」とはどういう町なのかを一人一人が自分の事として考えるために、「高齢者疑似体験」「点字体験」「手話体験」「アイマスク体験」「車椅子体験」などを行いました。また、11月5日(土)の佐川野っ子祭りでは、「竹とんぼ」「缶ぼっくり」「絵手紙」「折り紙」「お手玉」「テープ細工」の中から、自分でやってみたい物作り体験を選び、地域の方に教えていただきながら楽しく活動しました。

総合的な 学習の時間

4年 渡辺 愛奈

高齢者疑似体験をして、私は、お年寄りがいっぱい大変な思いをして生活していることに気付きました。私のおじいちゃんやおばあちゃんにもやさしく声をかけてお手伝いをしたいです。



高齢者疑似体験

4年 柿沼 暉恒

ぼくは、手話体験で耳が聞こえない方の話を聞いて、日ごろの大変さがとてもよく分かりました。これからぼくは、手話の本を読んで、一人でも多くの人と手話で会話をしたいと思いました。



手話体験

4年 老沼 大成

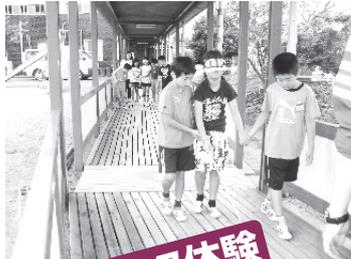
ぼくがハンディキャップ体験で一番心に残ったのは、車いす体験です。一人で乗ったら不便で、思った以上に大変でした。これから、困った人がいたら、お手伝いをしたいと思います。



車いす体験

4年 柿沼 結夢

私は点字体験をするとき、「かんたんだらうな。」と思っていましたが、やってみると、とてもむずかしかったです。同じ点字でもなかなかおぼえられませんでした。これから、もっと点字を勉強したいです。



アイマスク体験

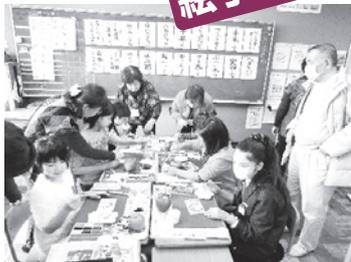
4年 柿沼 結衣

アイマスク体験では、ふつうにいつも歩いているところをアイマスクをして歩いたら、前が見えなくて、とても大変でした。これからは、アイマスク体験をしたことを生かして、お手伝いしたいと思います。



6年 坪井 玲捺

私は、テープ細工体験が初めてだったので、とても楽しみでした。少し難しかったけれど、地域の方に教えてもらいながら友達と一緒に作りました。上手にできたので、よかったです。



絵手紙

3年 岩崎 真於

私は、絵手紙のかき方を教わりました。楽しかったことは、筆で絵をかく時です。りんごなど色々かきました。とくに、しいたけが上手にかけました。しいたけの色を少しだけ本物みたくに出せたからです。

佐川野っ子祭り

テープ細工



2年 岡部 優佑

ぼくは佐川野っ子まつりで、竹とんぼの作り方を教えてもらいました。竹にぎん色の紙をまいて、火に近づけて形をかえることが、とてもすごいと思いました。また、作ってみたいです。



竹とんぼ

南赤塚 小学校

南赤塚小学校では、4年生が総合的な学習の時間に福祉についての学習を行っています。身の回りや街の中にはどのような工夫があるのかを調べました。そして、学んだことを体験コーナーとしてオープンスクールで発表しました。人権強調週間には、全校児童で講話を聞き、身近な福祉について考えました。また、毎年たくさんの児童が夏休みに開催される「小学生チャレンジスクール」に参加しています。様々な活動を通して、たくさんのことを学ぶことができました。

★4年 総合的な学習の時間★

「虹の会」「野和の会」「点友会」の皆様到手話と点字について教えていただきました。実際にお話を聞いたり、体験したりして、耳や目の不自由な方の気持ちや自分たちができることについて考えることができました。また、オープンスクールでは点字や手話、アイマスク体験コーナーなどを作り、たくさんの人に福祉について伝えることができました。



手話のあいさつを教えてくださいました



点字で自分の名前を打ち、名刺を作りました



アイマスクをして、白杖を使って歩く体験コーナー

4年 馬場 星奈
目の不自由な人はいろいろな場所にある点字を使って生活していることが分かりました。街で目の不自由な人に会ったら手助けをしたいと思います。

4年 望月 瑚子
高齢者体験でゴーグルと軍手を身に着けて豆うつしをしました。とても見づらくて、豆をつかむのに苦労しました。困っている高齢者の方がいたら、声をかけたいと思いました。

4年 細田 涼羽
オープンスクールで点字体験コーナーをやりました。たくさんの人に体験してもらい、点字について知ってもらえてうれしかったです。

4年 南雲 双葉
高齢者体験をして、とても身動きがとれづらいうことに気付きました。困っている人を見かけたら、手伝ってあげたいです。

4年 須藤 信光
目が不自由な方から横断歩道をわたるときが一番こわいという話を聞いたことが、とても心に残りました。

4年 安部 泰生
ユニバーサルデザインの製品は、はさみやスプーンなどたくさんの種類があることが分かりました。使いやすくみんなの役に立っているから、みんなに優しいと思いました。

4年 阿部 美乃
点字は、目の不自由な人が生活するためにとても大切だと分かりました。家の外に出るのは、とても大変だと聞いたので、これからは助けたいと思います。

4年 伏木 彩夏
野木町の中にも、体が不自由な人のために工夫してある場所が、いろいろあることが分かりました。

★人権集会の講話★

人権強調週間の講話として、パピーウォーカー（盲導犬育成ボランティア）の宮佳奈子さんから話を聞きました。盲導犬育成のポイントを聞いたり、DVDを観たりして、目の不自由な方や盲導犬との関わり方について学びました。



盲導犬を引退したオルフィス君も一緒に連れて来てくれました



オルフィス君は とてもおとなしかったです



最後にみんなで お別れをしました

6年 菊入 真由
今回のお話を聞いて、目の不自由な方にとって、盲導犬が大切なパートナーだということを感じました。いろいろな訓練を受けて育った盲導犬は、人の命を守ってくることが分かりました。また、盲導犬にとって人にほめられたり、なでてもらうことが幸せだということも心に残りました。



★小学生チャレンジスクールに参加して★

3年 小林 悠暖
白杖で周りを確かめながら歩くのはとても大変でした。教えてもらったおりに歩くのが難しく、特に階段を上ることが難しかったです。

4年 島村 舜也
車イスバスケットボールを通して、足が不自由な人でも楽しくスポーツができるんだなと思いました。

5年 小森 優凜
いろいろな体験活動を通して、今まで知らなかったことを知れてよかったです。これから体の不自由な方を助けたいと思いました。

6年 成瀬 菜摘
車イスでバスケットボールをやるのは、自由にいかなくて大変でした。バスケットボール用の車イスは普通の車イスと違ってタイヤがハの字になっていたため、カーブは、やりやすかったです。

新橋 小学校

新橋小学校では、4年生の総合的な学習の時間に福祉についての学習をしています。6年生の総合的な学習の時間には、様々な伝統文化体験を行いました。例年、地域の福祉ボランティアの協力を得て、体験学習を充実させています。また、3年社会科「昔の暮らし」1年生活科「昔のあそび」では、地域の敬老会との交流も続いています。お年寄りに話を聞いたり、ふれ合ったりしながら、たくさんのことを学ぶことができました。

☆人権週間☆

～なかよし集会後の児童の感想～

1年 木村 蓮

ぼくももだちに「がんばればいいんだよ。」といってもらってとてもうれしかったので、もだちにもそういってあげたいです。



1年 井上 夏花

いれてほしいときに、ゆうきを出して口でいったとき、「いいよ。」といわれてとてもうれしかったので、わたしもいれてあげたいです。

1年 栗野 敦斗

ぼくも「あそびにいらて！」と、ゆうきを出していえたり、おともだちをあそびにいらてあげたりできる子になりたいです。

1年 吉見 千陽

わたしも、こまっている子やにが手な子がいたら、やさしくおしえてあげたいとおもいました。

5年 鈴木 沙也加

人権集会を通して、声を出すことの大切さを学びました。「そんなこと言っってはダメだよ。」と言うことで悪いことを止めることができることを改めて感じました。これからは、自分も間違いに対しての声を出していきたいです。

5年 中村 都和子

新橋委員として、集会の内容を話し合い、劇を作りました。改めて、優しさ、気づかい、思いやり、勇気について考えることができました。これからは、相手のことを考えた発言や行動をとれるよう気を付けたいと思います。



☆社会科「昔の暮らし」☆

3年生は、新橋小学校近辺にお住まいの方15名に、野木町の昔の町のような、昔の暮らしのようすをうかがいました。実際に体験したことを詳しく話していただいたので、昔と今の野木町のようすの違いがよくわかりました。



昔の洗濯のようすを動画で見せてくださいました。



昔の切符(硬券)を見せてくださいました。

☆生活科「昔のあそび」☆

現2年生が1年生の時の活動風景です。丸林西富士見会、卯ノ木クラブ、新橋ローズクラブからお年寄りをお招きし、「昔のあそび」を体験しました。



田熊 晟大
お手玉が楽しかったです。おばあちゃんたちは、すごく上手でした。「れんぞくわざ」や「なげてキャッチ」ができました。

伏見 波人

「平らな所でやるとひっくり返せるよ。」と教えてもらって、何回もチャレンジしたけど、むずかしかったです。名人はすごいなと思いました。



浅野 美結

最初は、こわくて竹馬にのれなかったけど、やさしく教えてもらったから、れました。できた時、うれしかったです。



☆総合「アイマスク体験」☆

4年生は、総合的な学習の時間「バリアフリーを考えよう」という課題でアイマスク体験をしました。



八代 樹寧

介助者ありでは、安心して体験ができました。段差や横に物があること、見なくては分からないことなどを、介助者が目の不自由な人に言ってあげると安心できると思いました。

館野 真采

アイマスクをして一人で歩いたら、とても怖かったです。目が不自由な人の気持ちが分かりました。

小島 来海

目が見えない人の気持ちがわかりました。視覚障がいの人を見かけたら、優しく接してあげるようにしたいです。

☆総合「伝統文化体験」☆

6年生は、総合的な学習の時間に伝統文化体験を行いました。水墨画は全員が体験しました。他にも茶道、華道、琴の中からそれぞれ一つを選んで体験しました。初めての体験に緊張しながらも、楽しく日本の伝統文化の奥深さを学び、素晴らしい経験ができました。講師の先生方は、野木町に住んでいる方が多く、地域の方々とも貴重な交流ができました。



野木 中学校

野木中学校では、福祉委員を中心に、毎月古紙・アルミ缶回収を実施しています。潤心祭では、地域のお年寄りと一緒にグラウンドゴルフを楽しみ、交流を深めたり、生徒会で煉瓦窯維持費を募る募金活動を実施したりしました。また、潤心祭で発表した和太鼓の演奏を虹の舎でも演奏するなど、地域に根ざした活動を行うことができました。

アルミ缶・古紙回収 3年 いぐち のえ 井口 野恵

私たち福祉委員会は、緑の羽根募金や心の友運動などを呼びかけるだけでなく、アルミ缶・古紙回収に力を入れて取り組んできました。

アルミ缶・古紙回収は毎月2日間をかけて実施されています。どのクラスも達成率100%を目標に、クラス一丸となり協力してくれています。そのお陰で、今年もたくさんのアルミ缶・古紙を回収することができました。回収に協力してくださった皆さんに感謝するとともに、その収益が野木中の役に立てることを誇りに思っています。



私は3年間福祉委員として活動し、ボランティアの素晴らしさやみんなで協力することの大切さを実感することができました。これからもいろいろな活動を通して、野木中生にボランティアや協力することの大切さをたくさん感じてほしいです。

煉瓦窯募金活動 3年 つかだ わたる 塚田 航

私たち野木中学校生徒会は、重要文化財のホフマン煉瓦窯の補修工事が終わったことで、今年はその煉瓦窯の維持費を集める募金活動を、10月の潤心祭で行いました。

今年も、昨年と同様に直接呼びかける方法で募金活動を行いました。かなり短い時間であったものの、多くの募金を集めることができました。ありがとうございました。募金をしていただいた方々から、「頑張ってるね。」などの労いの言葉をかけていただき、地域の温かさや人々の優しさを身に染みて感じられた、貴重な体験となりました。

来年度は、時間を増やすなどの工夫をして、今年より多くの募金を集めるとともに、温かい地域の人々と交流を深めてほしいと思います。

募金をしていただいた皆様、本当にありがとうございました。



虹の舎 和太鼓をする喜び

3年 なかむら はやと 中村 颯人



私はこの3年間、和太鼓講座で活動してきました。3年生で演奏した「八丈」という曲は最も難しかったのですが、仲間と心をつなげてより良いものにできたと思います。その「八丈」を、『虹の舎』で行われる収穫祭で披露させていただきました。

外での演奏は、明るさや音の響きが学校の体育館とは異なりました。また、潤心祭後、少し時間が経ってしまったので、最高の演奏をお届けできるか不安でした。予想以上にお客さんがいちゃり緊張しましたが、逆にそのことが自分の力を奮い立たせました。多少ミスがありましたが、お客さんの拍手と笑顔に、和太鼓を続けてきたことの喜びと達成感を味わいました。

和太鼓の活動は、自分にとって忘れられない経験となりました。自分一人では作り上げられないものを作る、仲間の大切さや、人を楽しませたり笑顔にさせたりすることの喜びを感じることができました。この経験をこれからの糧としていきます。



潤心祭 高齢者接待 3年 おかむら ゆめほ 岡村 夢羽



私たち「ものづくり講座」では、潤心祭2日目の一般公開日に、野木町にお住まいになっている高齢者の方々と、楽しくグラウンドゴルフをしました。早朝から、そしていろいろな地域から、自転車をこいでくる高齢者の方のパワーには、とても驚きました。グラウンドゴルフでは、緊張してなかなか話しかけられなかった私たちに対して、笑顔で話しかけてくださり、とてもうれしくなりました。そのおかげで、私たちも楽しく活動することができました。

グラウンドゴルフが終わった後、高齢者の方にカレーを出したり、楽しくお話をしたりしました。毎年行っている活動ですが、高齢者の方と良い交流ができたと思います。何より、自分にとってよい経験になりました。これからも、このような交流を大切にしていきたいです。



One dayボランティアスクール 2年 さいとう けんた 齋藤 健太

僕は今回の活動でいろいろなことを学びました。盲導犬協会では、目の不自由な人に対するマナーや、盲導犬の仕事などを学ぶことができました。アイマスクをつけ、何も見えない状態での盲導犬との歩行体験はとても不安でしたが、どこにもぶつからないで歩くことができ、盲導犬の素晴らしさを改めて実感しました。次にハンディとは何なのか、車椅子でできるスポーツはどれくらいあるのかを学びました。車椅子バスケットボール体験は思ったよりも大変で疲れましたが、面白かったです。

これらの体験やお話を通し、ハンディは誰にでもあること、どんなに重い障がいがあったとしても楽しく生活していける世の中でなくてはいけないことなどを考えることができました。今回の活動で障がいに対する考え方が変わりました。これからは自分にできることを見つけて、実行していきたいです。

野木第二 中学校

野木第二中学校では、6月の「ひまわり荘訪問」で、お年寄りの皆さんと七夕の飾りつけを楽しむことができました。また、8月の「One dayボランティアスクール」では、宇都宮市にある「東日本盲導犬協会」において、施設見学と盲導犬体験、さらに「サン・アビリティーズ」にて車いすバスケットボールを体験してきました。10月には、「輝光祭」において、ひまわり荘の方々を招待して、楽しい時間を過ごすことができました。このことは、貴重な体験となり、今後の生活に生かしていきたいと思えます。

ひまわり荘を訪問して

3年 茂呂 一輝

僕は、6月28日にひまわり荘を訪問し、七夕飾りをしてきました。手作りの飾りを大きな竹につけていきました。折り紙で作った飾り物の他に、ひまわり荘にいる方々の短冊も飾りつけました。また、途中からひまわり荘の方々も手伝ってくださり、みんなで協力して飾りつけをすることができました。このような地域の人々との交流は大切なことだと思いました。これからも、このような地域交流ができる活動に積極的に参加していきたいと思えます。



2年 知久 日菜子

8月5日のOne dayボランティアスクールでは貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。アイマスクを付けての盲導犬歩行は、一歩踏み出すのも怖く、また歩くペースも速いことに驚きました。視覚障がい者の方が、駅のホームから転落するという悲しい事故がありました。もし、困っている方や危険だと感じた時は、積極的に声をかけるようにしたいと思えます。車いすバスケットボールも体験しました。リングの高さやコート、それにボールの大きさまで一般のバスケットと同じため、想像以上に難しかったです。今年はリオでパラリンピックがあり、たくさん応援しました。障がいというハンデがあるにもかかわらず自立して、自分でできることは何でもしていることを知り、自分の今までの見方が全く変わりました。この体験を通し、障がいを持った方との距離が近くなった気がします。ぜひまた車いすバスケットボールに挑戦してみたいです。



One dayボランティアスクール



2年 諏訪 千咲

私は、今回このボランティア活動に参加して、たくさんのお話を学ぶことができました。東日本盲導犬協会では、知らなかったことがたくさんありました。点字が読める人は約1割ということや、目の不自由な人にもいろいろな見え方があるということが驚きました。盲導犬は、約3割しかなることができないことも知りました。盲導犬と一緒に歩いてみて怖かったのですが、本当に賢いのだと改めて感じました。車いすバスケットボール体験は初めてで、すごく怖かったです。足が動かせないで、ボールをとることやシュートを決めることも難しく大変でした。しかし、仲間と協力し試合に勝つことができました。車輪の傾きによって素早く動けることが特にすごいと思えます。これらのことを学び、障がいを持った方への見方も変わり、自分にも何か手助けすることができるのではないかと強く思いました。本当にとても良い経験になりました。



1年 山中 善弘

今回のひまわり荘接待で良かった点と反省点が1つずつありました。まず良かった点は、作品展示の案内で作品についてしっかり案内できた点です。逆に反省点は、昔の遊びをしているときに何をしたらいいかわからず恥ずかしがっていたことです。今思い返せば、昔大変だったことや戦時中のことなどを聞いたりいくらでもあったのに、どうしてわからなかったのだろうと非常に後悔しています。次にこのような機会があったら、たくさんお話をしたいと思えます。

1年 金子 ちはる

ひまわり荘接待当日はとても緊張しましたが、お年寄りの方が優しく話してくださったおかげで、とても楽しく会話できてほっとしました。私はひまわり荘の方と一緒に、クラス展示を見ました。おばあちゃんが、「楽しい」と言ってくださりとてもうれしかったです。その他に、おはじきなどの遊びをしました。とても楽しい経験ができてよかったです。少しの時間でしたが、いろいろ楽しんでくださったのでよかったです。

2年 和田 侑也

ひまわり荘の人たちと触れ合うことができ、とても良い経験になりました。係として気を付けたことが3つあります。1つ目は、歩く速さを合わせることです。お年寄りに合わせてゆっくりと歩くように気を付けました。2つ目は、目の高さを合わせることです。しっかりと目を合わせて話すことに気を付けました。3つ目は、話す声の大きさです。しっかりと説明が伝わるように気を付けました。クラス展示の案内が終わった後に、ひまわり荘の方たちがとても笑顔になっていてうれしかったです。今回交流してみてもとても勉強になりました。来年またこのような機会があったら、もっといい接待ができるように頑張りたいです。

ひまわり荘接待



手話サークル「野和の会」

田中 久恵

手話は耳の聞こえない方にとって、とても大切なコミュニケーション手段です。今では、手話は耳の聞こえない方の言葉として社会で認められています。

しかし、昔のろう学校では、手話を使う事は認められていなかったそうです。ろう学校では毎日厳しく、口の動きを読んだり、発音の練習をしていたそうです。その話を聞いた時、私はとても驚きました。耳の聞こえない方にとって、手話が使えない事は、耳が聞こえる方が声を出せない事と同じように、とても苦しいことだと思います。

ですから、小中学校の児童・生徒さんたちが、耳の聞こえない方のお話を聞いたり、手話を習ったりすることは、とても良い経験になると思います。お互いの顔を見て、手話で挨拶をしたり、自己紹介したりと、コミュニケーションをとることは、素晴らしいことだと思います。

私たち手話サークルは、これからも小中学校の手話体験をお手伝いさせていただきます。



手話サークル「野和の会」

活動日：毎週月曜日(午前10時～正午)
場 所：ホープ館(町老人福祉センター)
年会費：1,000円

手話サークル「虹の会」

活動日：毎週土曜日(午前10時～正午)
場 所：ホープ館(町老人福祉センター)
年会費：1,000円

点字会「のぎ」

中野 啓子



点字会「のぎ」が発足して16年。会員数は少ないですが、視覚障がい者のKさんの協力のもと、小・中学校の福祉教育の勉強に協力させていただいています。

そこで、いつも感心するのは、Kさんの話に、皆、真剣に耳を傾け、そして疑問に思うことは、しっかり質問してくれることです。

点字器を使っただけの勉強の時にも、覚えの速さには毎回びっくりさせられます。自分で打った点字を、Kさんに読んでもらった時の満足そうな笑顔が、とても可愛く、私たちのやりがいを感じる瞬間であります。

Kさんが、必ず子供たちに伝える言葉があります。

「目は体の中では、とても小さい臓器です。でも、世の中の情報の大部分は目から入ってきます。どうか、目を大切にしてください。そして、困っている人を見かけたら、勇気を出して声をかけてください。私たちには、とてもありがたいことですから……。」と。

それは、私たち全員の願いでもあります。

点字会「のぎ」

活動日：第2・4火曜日(午前10時～正午)
場 所：ホープ館(町老人福祉センター)
年会費：500円

朗読の会「のぎく」

宮 佳奈子

「のぎく」は毎月、生まれつきや病気、事故などで目が見えなくなった人たちに、町からの広報やお知らせを伝える音訳ボランティアをしています。

聞いている人に、わかりやすく正確な情報を届けることで少しでも役に立てればという思いで、メンバー一同頑張っています。

自分の好きなことがボランティアへとつながれば素敵なことだと思います。

声に出して読むことに興味がある人はぜひ夏休みに「ボランティアサマースクール」「小学生チャレンジスクール」に参加してみませんか？自分で読んだものが喜ばれるという事は、やりがいがあり嬉しいものです。

将来、野木町の小中学生が、目の見えない白杖を持って歩いている人や盲導犬と一緒に歩いている人たちに、自然で当たり前のように声をかけられる大人になってほしいと思います。



朗読の会「のぎく」

活動日：第1・2・3水曜日、第4金曜日
(午後1時30分～午後4時)
(第1水曜日は午前9時30分～)
場 所：ホープ館(町老人福祉センター)、
図書館 他
年会費：500円

夏の思い出 2016

ボランティア サマースクール

ハンディキャップ体験
どうしたら安全に
乗れるかな？



施設体験(パステル)
利用者の方に似顔絵を
描いてもらっています。



施設体験(新橋児童館)
小学生に大人気!!



施設体験(虹の舎)
みんなで一緒に
レクリエーション♪



福祉講座
朗読って奥が深い!



福祉講座
手話・点字・朗読
全部覚えられるかな？



郊外学習:福祉プラザ(宇都宮)
救急法講習(日本赤十字社栃木県支部)
車いすバスケットボール体験



小学生 チャレンジスクール

盲導犬のお話
とってもお利口だね☆



地球温暖化防止体験
身近なエコって
どんなこと？



合同プログラム世代間交流 竹細工講座・流しそうめんとバーベキュー

竹細工講座
力を合わせて!!

流しそうめんとバーベキュー
箸も器も手作り!



全プログラム終了♪
一週間よく頑張りました!
ボランティアのみなさん、
ご協力ありがとうございました。

One dayボランティアスクール

東日本盲導犬協会

佐々木さんのお話

車いすバスケットボール体験

初めての盲導犬に
ドキドキ...



車いすって色々なことが
できるんだね。

